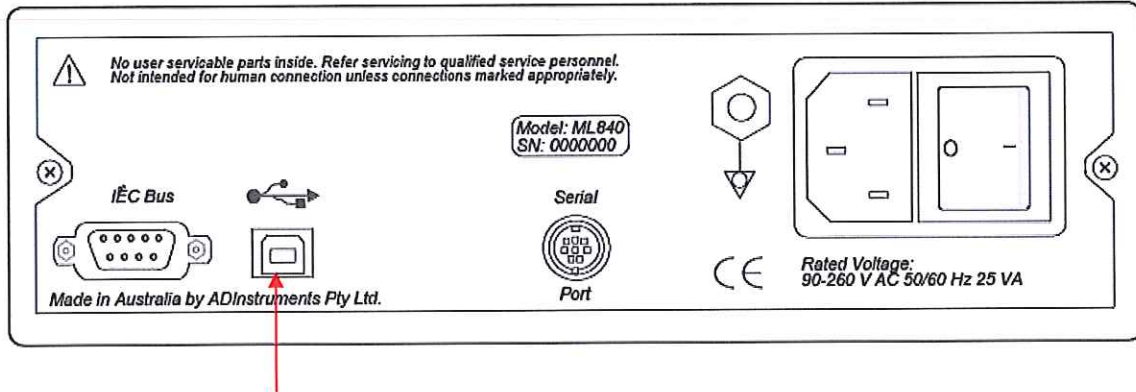


PowerLab 操作方法

1. PowerLab の接続

PowerLab ユニットの USB ケーブルを使用し、PC と接続します。



この USB ポートと PC の USB ポートをケーブルで接続します。

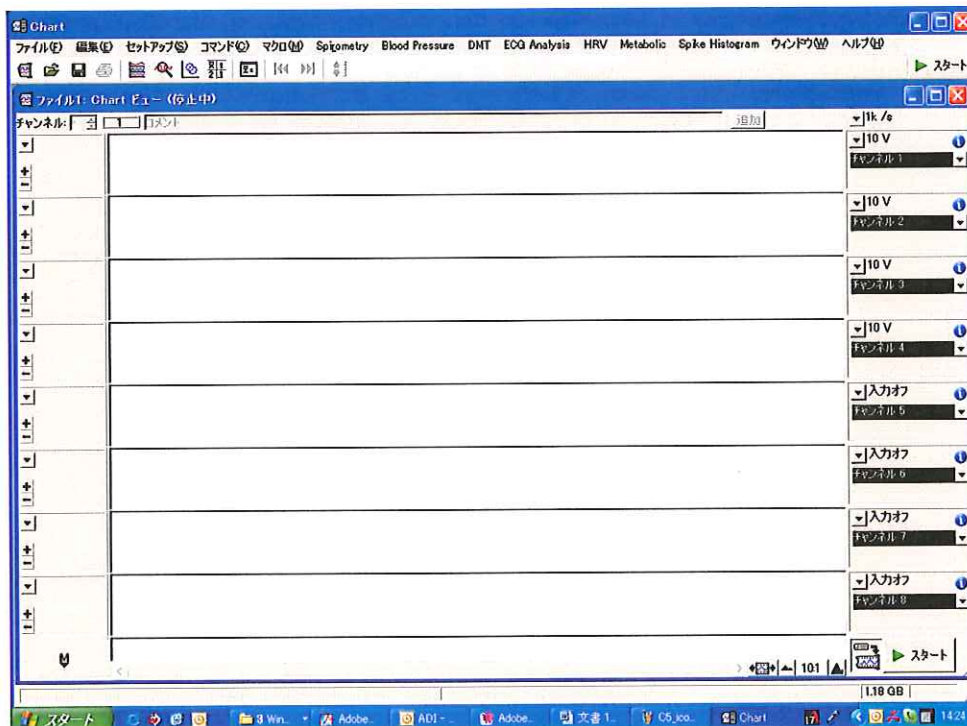
2. PC と PowerLab の電源を入れる

3. デスクトップの Chart のアイコンをダブルクリックする。



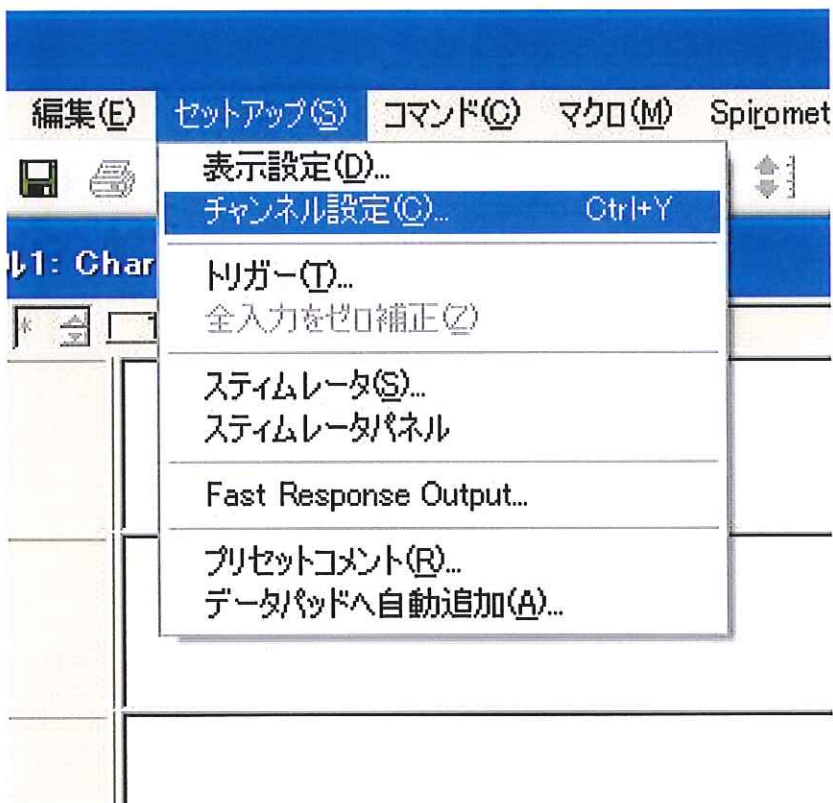
Chart5 for Windows

Chart アプリケーションが起動します。

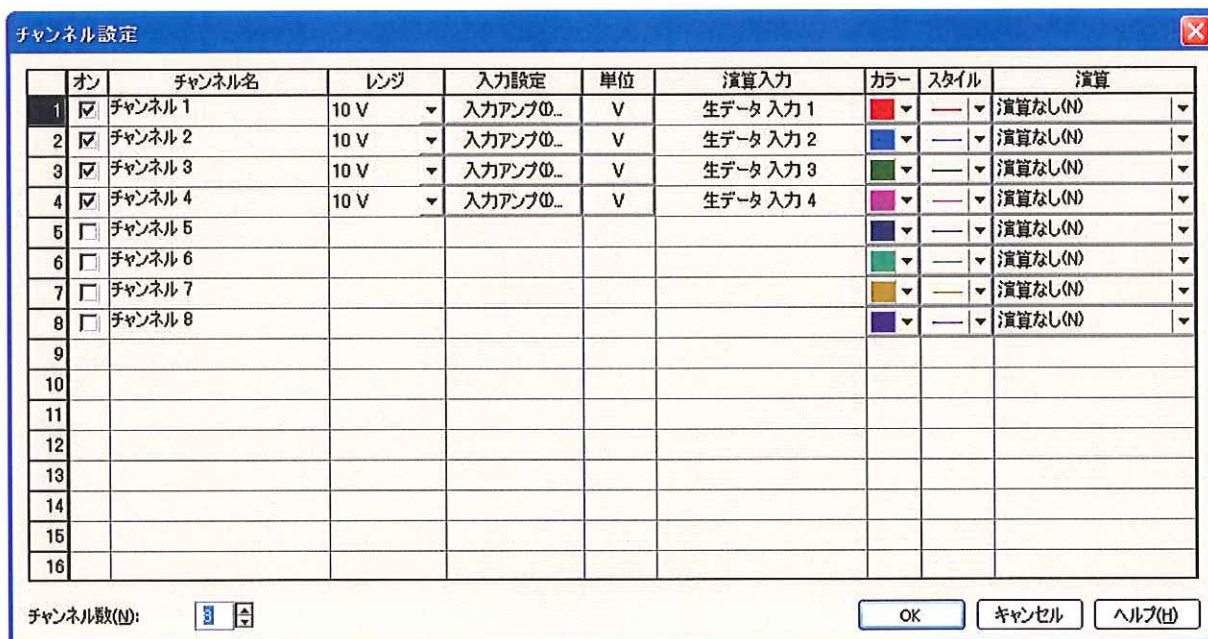


4. チャンネル数を設定する。

メニューのセットアップからチャンネル設定を選択する。

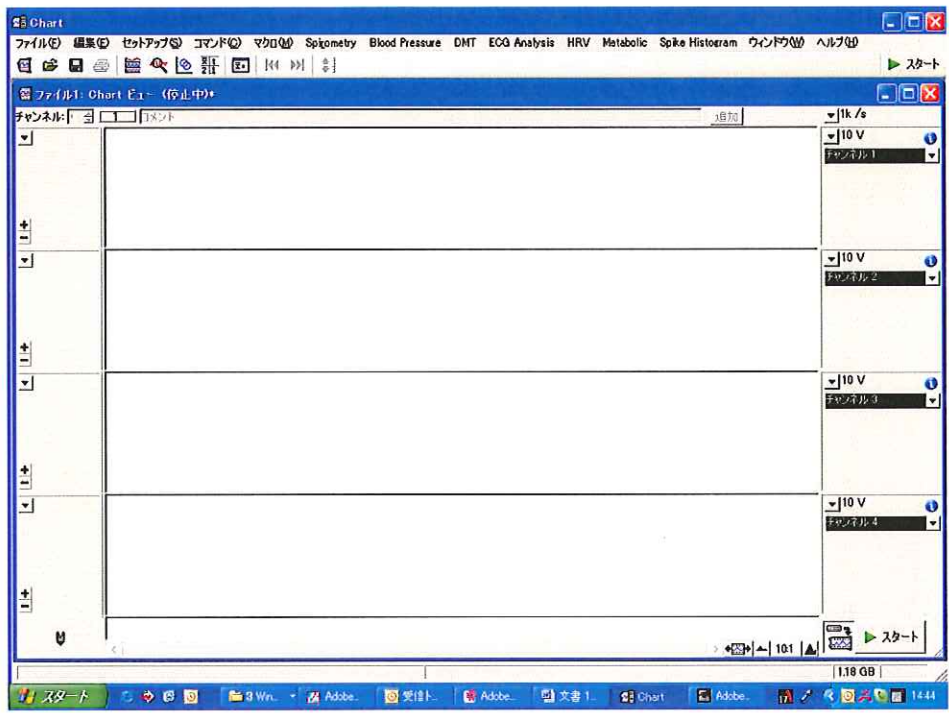


チャンネル設定画面が現れる。

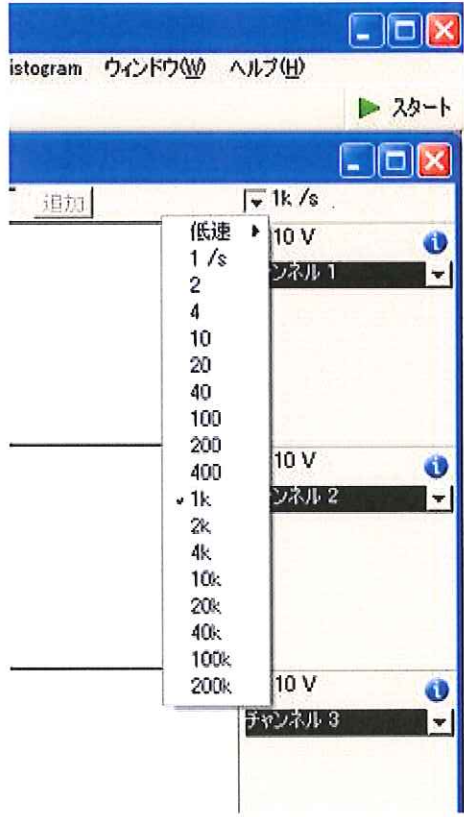


下部の「チャンネル数」を任意のチャンネル数に合わせて、変更する。(例：4)

「OK」ボタンを押すと、Chart 画面での表示チャンネル数に変更される。



5. 記録サンプリング速度を設定する。
右上のサンプリングプルダウンメニューを使用し、任意のサンプリング速度を設定する。



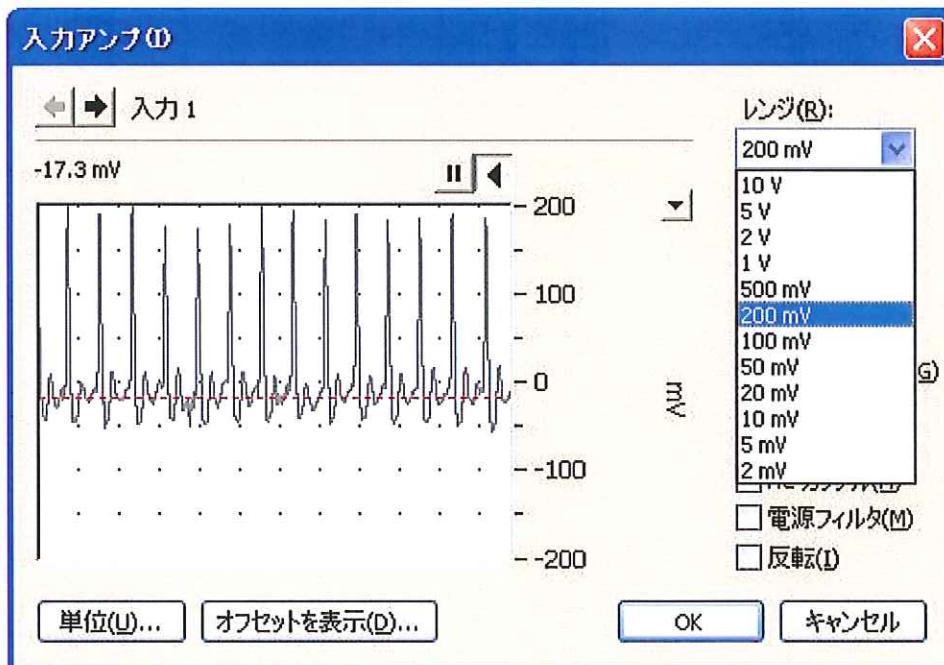
6. 入力レンジを設定する。

チャンネルのプルダウンメニューから「入力アンプ」(接続しているアンプによって変更されます。

例：バイオアンプ、ブリッジアンプなど)



「入力アンプウィンドウ」が表示される。

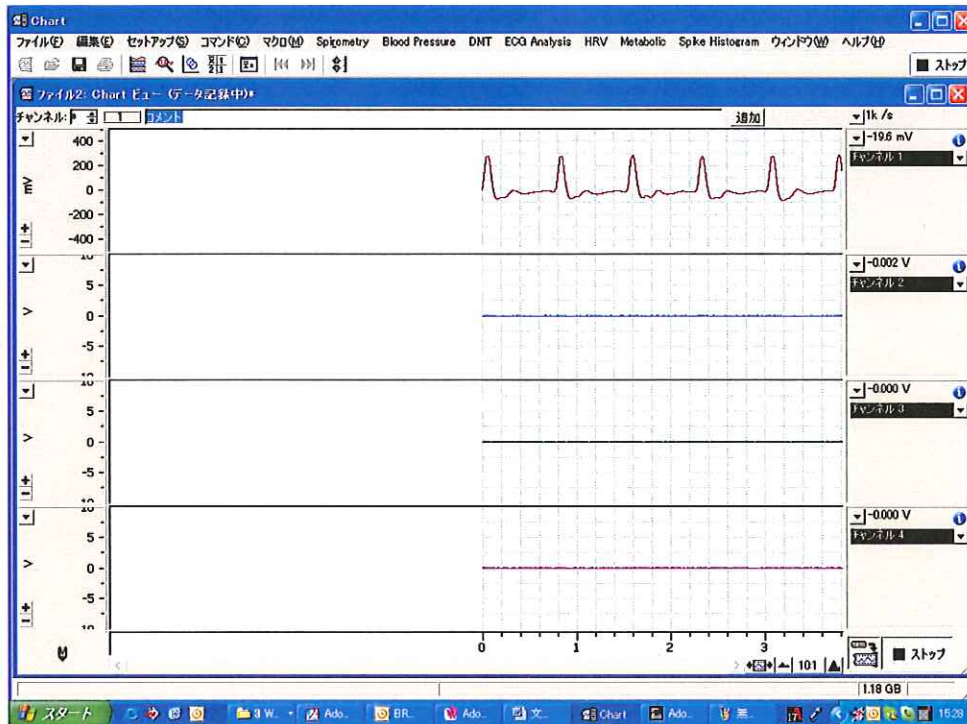


入力されている信号が表示されるので、信号の振幅に合わせ適切なレンジを選択する。

「OK」ボタンをクリックする。

7. データを記録する。

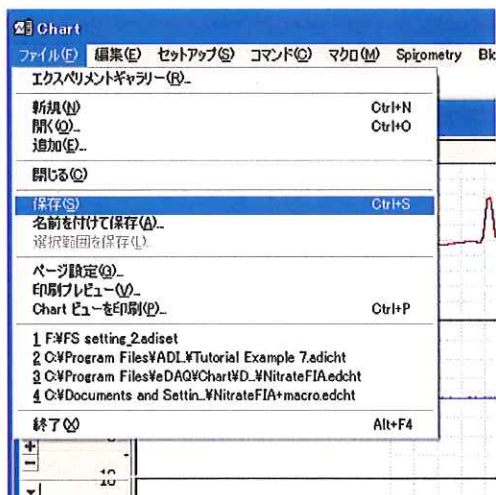
「スタート」ボタンをクリックすると、記録が始まります。

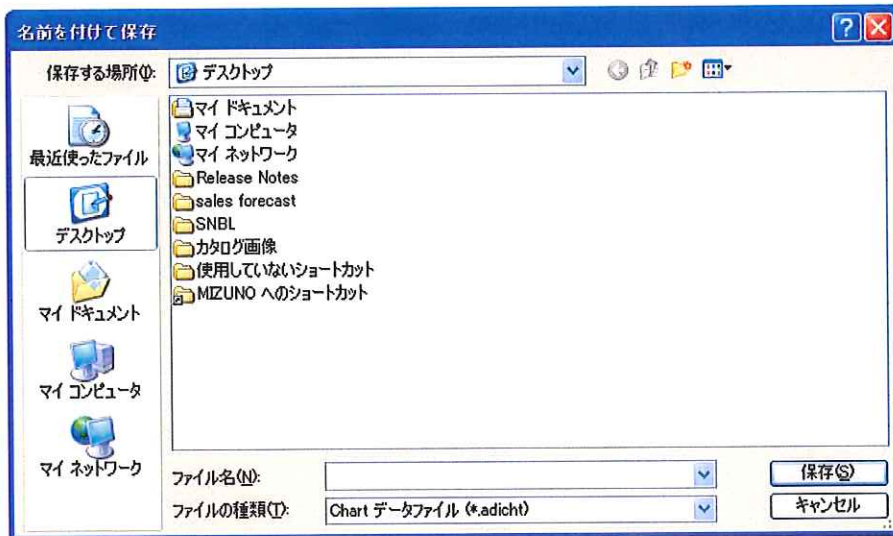


「ストップ」ボタンをクリックすると、記録を停止します。

8. データの保存

メニューの「ファイル」から「保存」を選択する。





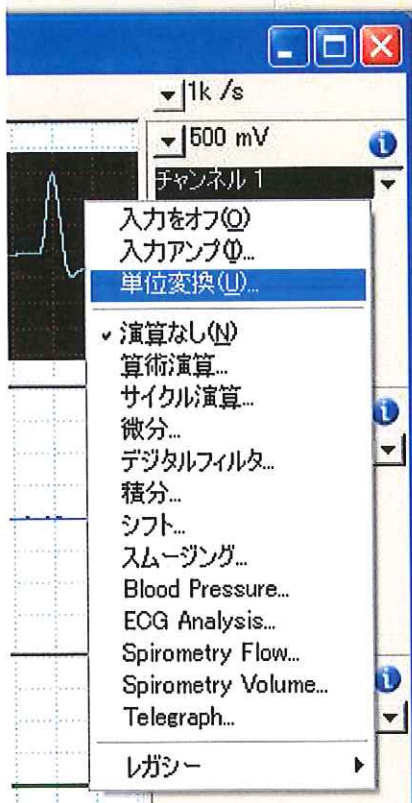
ファイル名、保存する場所を指定し、保存する。

単位変換（トランスジューサのキャリブレーション）の方法

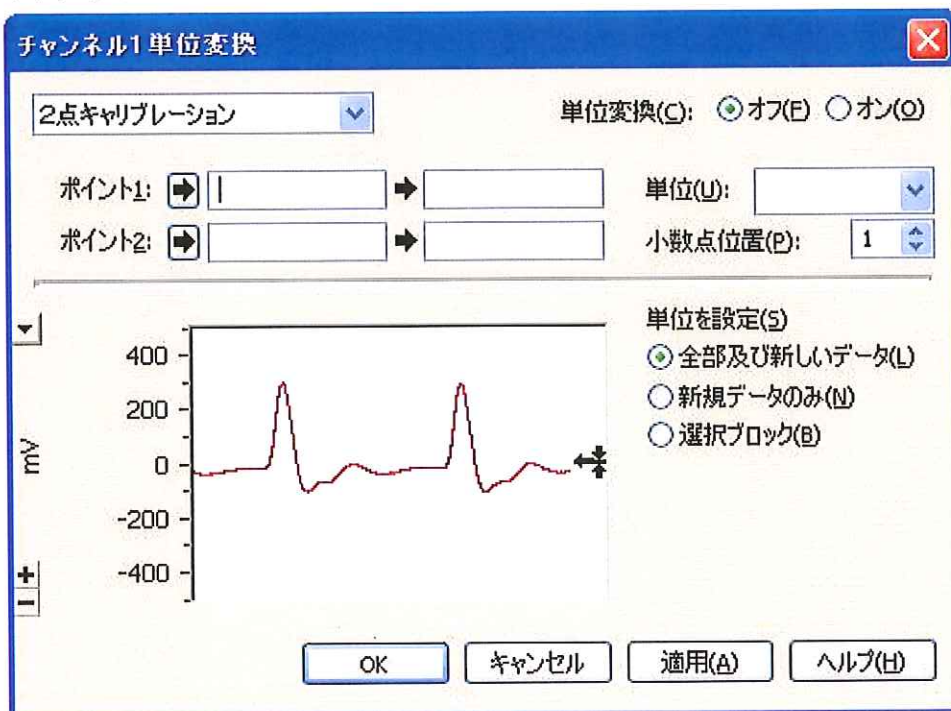
1. 校正する信号を PowerLab に入力し、「スタート」ボタンを押して記録し「ストップ」ボタンを押して記録を停止する。
2. Chart の画面で校正する信号をドラッグし、選択する。



3. チャンネルプルダウンメニューから、「単位変換」を選択する。

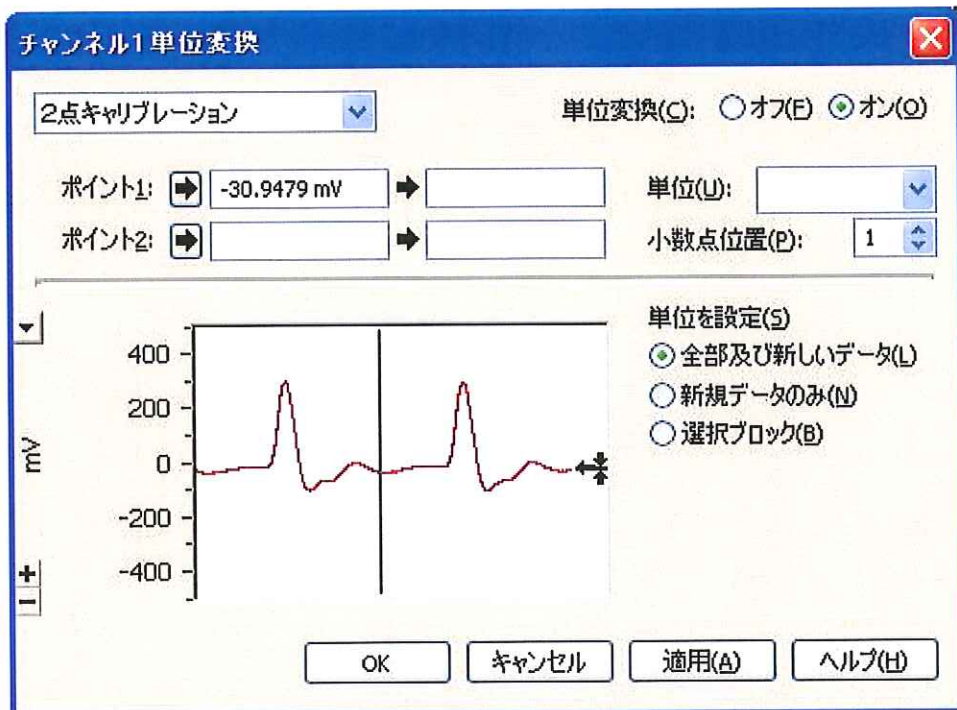


単位変換ウィンドウが現れる。

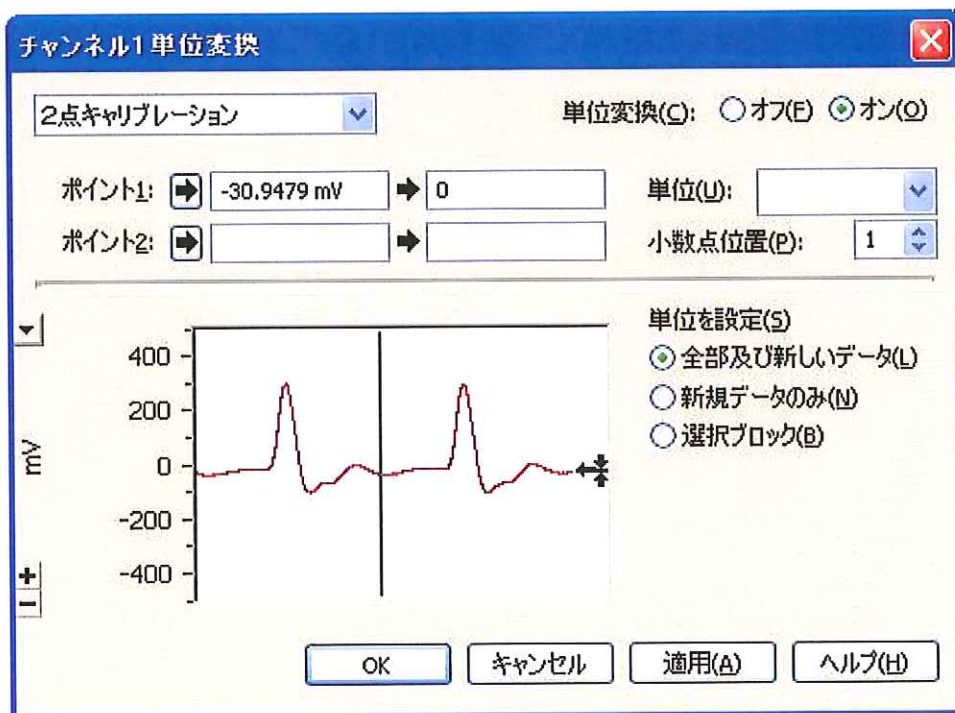


4. 校正信号の2点の値を用いて、単位変換を行う。

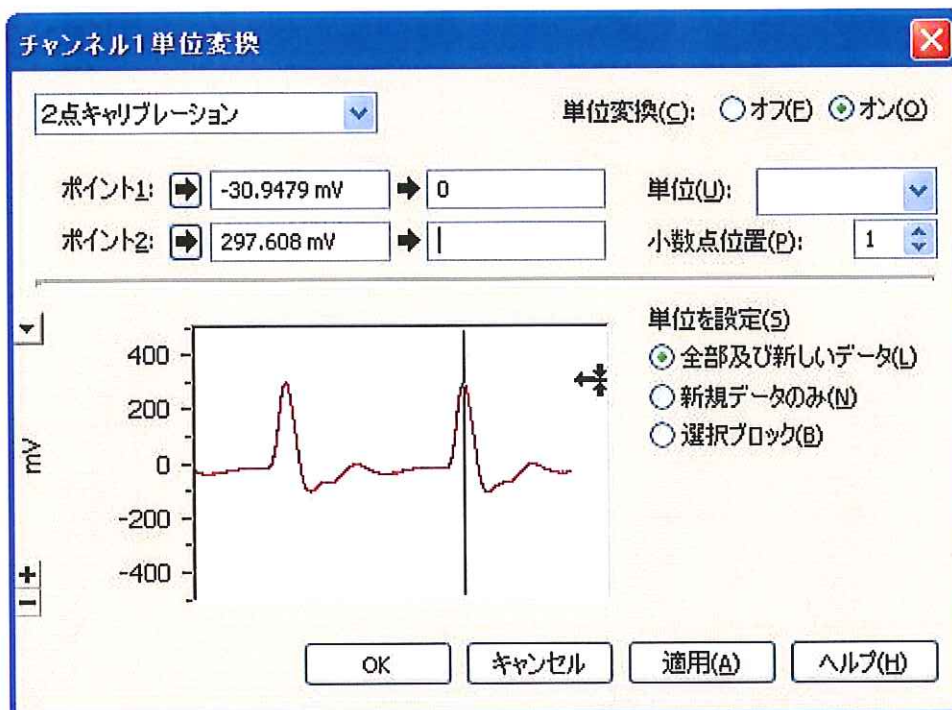
校正信号の一点（低い電圧）をクリックすると、波形上に線が入るので「ポイント 1」の右隣の矢印をクリックする。ポイント 1 の空欄に電圧値が入力される。



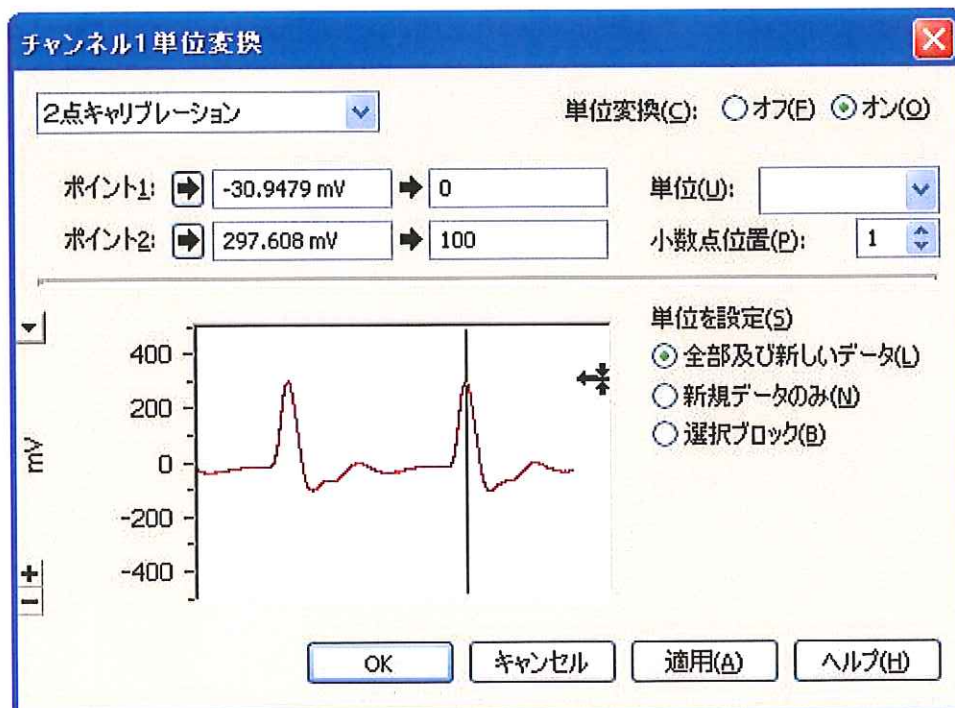
ポイント 1 の右側の空欄に校正値を入力する（例 0）



校正信号のもう一点（高い電圧）をクリックし、「ポイント 2」の右隣の矢印をクリックする。ポイント 2 の空欄に電圧値が入力される。

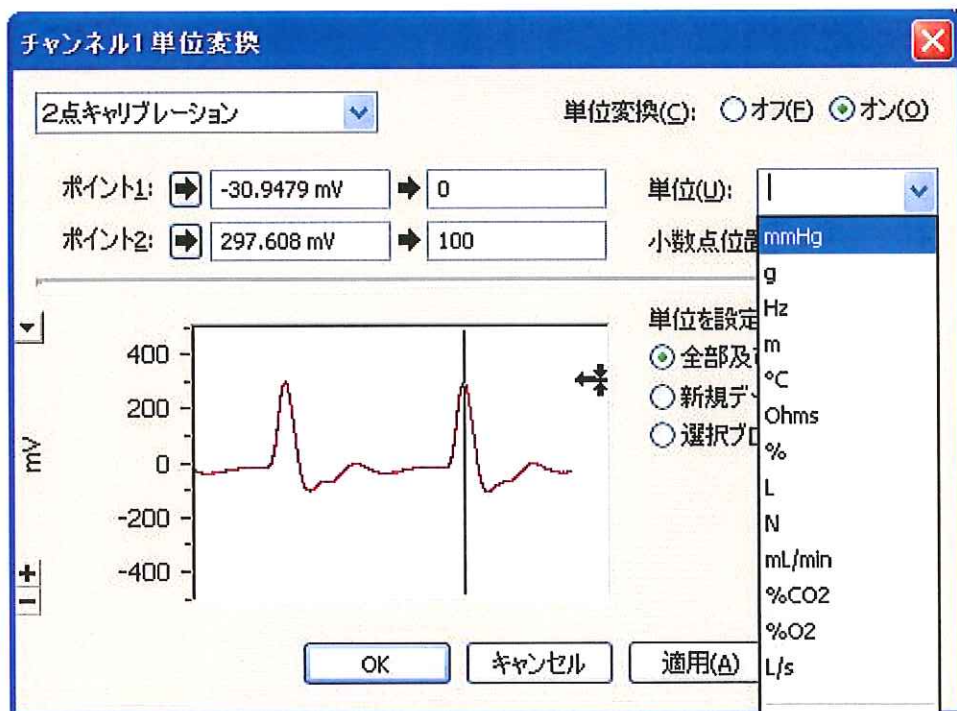


ポイント 2 の空欄に校正値を入力する (例 : 100)。



5. 単位を設定する。

単位のプルダウンメニューから適切な単位を選択する。(例 : mmHg)



「適用」、「OK」ボタンをクリックする。
 選択した単位で Chart 画面上でも表示される。

